

T H E Y A K U J I N I P P O

薬事日報 薬 学 生 新 聞

<http://www.yakuji.co.jp/>

発行:株式会社薬事日報社
東京本社 〒101-8648
東京都千代田区神田和泉町1
TEL.03-3862-2141
FAX.03-5821-8757
大阪支社 〒541-0045
大阪市中央区道修町2-1-10
TEL.06-6203-4191
FAX.06-6233-3681

3 年連続で総定員数下回る

薬科大学・薬学部
10年度入学状況 定員割れは22校

2010年度の全国の薬科大学、薬学部（以下、薬系大）の入学者総数は、総定員数が減少したにもかかわらず、全体の約3割に相当する22校で定員割れとなるなど、3年連続で総定員数を下回った。定員充足率は前年度と同じ平均97%だった。その一方で、定員を1割以上も上回った大学も14校あった。昨年度から、定員を削減する薬系大が増えているが、今年度も総定員数として155人減り、1万3158人となった。入学者数は、入学時に学部が決定しない東大を除き1万2658人だった。

全国の薬系大の総定員数は1万3158人で、新設ラッシュの最後となった08年度には、1万3494人にまで達したが、これをピークに09年度、今年度と複数校で定員削減が続いた。09年度は150人減、今年度は155人減と、総定員数が2年連続で減少した。今年度は4校が定員を削減したが、定員増を行った大学も1校あった。

00年度から続いた既設校の定員枠拡大や、03年度から始まった薬系大新設ラッシュによって、46校（02年度まで）だった薬系大は74校へと急増。薬大生の総定員数は増大の一途をたどっていた。しかし、最後の新設ラッシュとなった08年度をピークに、定員数は減少へと舵を切った形だ。

今年度に定員を削減したのは、東北薬大、千葉科学大、昭和大、九州保健福祉大の4校。増員したのは北里大1校だった。北里大では、6年制定員を10人減らし250人に、4年制を「薬学科」から「生命創薬科学科」へと改称し、定員を15人増の35人に。また、これを機に一括入試はやめた。

定員削減は、東北薬大が6年制330人を300人、4年制を50人から40人と、合計40人を削減した。千葉科学大は4年制（薬科学科、動物生命薬科学科各40人）を「生命薬科学科」



基礎知識を固め、臨床へ

に一本化し、定員も50人にした。また、6年制150人を120人へと圧縮し、合計60人減となった。6年制のみの昭和大は20人削減し180人、九州保健福祉大は6年制を40人削減し140人、4年制を含め170人とした。

総定員数1万3158人のうち、3年次で学部選択をする東大を除いた1万3078人に対する入学者数は1万2658人で、定員充足率は昨年度と同じ97%と、3年連続で定員割れとなった。

ただ、定員割れの度合いは、大学によって異なり、定員割れ22校のうち、誤差範囲と捉えられる90%台を除くと、実質的に定員割れを起こしたのは16校だった。そのうち、70%未満が11校あり、50～70%が8校、定員の半数にも満たなかった50%未満の大学も3校あった。

地域的な傾向として、昨年度に引き続いて、



東北地方と激戦区の千葉県（7校）、さらに中四国地方で、比較的大きく定員割れした。また既存校に比べ、新設校での定員割れが目立つ傾向もあった。

大学別では、最も充足率が低かったのは北陸大の39%で、定員306人に対し118人（昨年度146人）と、入学者数を減らし続けている。次いで、福山大44%、城西国際大46%、姫路獨協大50%、松山大52%、いわき明星大52%、安田女子大54%、徳島文理大香川薬学部56%、青森大59%となっている。これら大学の多くが、昨年度の入学者数を下回り、厳しい状況が続いている。

一方で、定員充足率が10%増となった大学が14校（前年度18校）あった。このうち、15%増を超えたのは、立命館大42%、国際医療福祉大24%、東京理科大24%、同志社女子大24%、北海道医療大21%、名古屋市大21%の各増となっている。充足率が10%増をオーバーした各校では、多くの大学が昨年度もやや多めに入学している傾向が見られる。

なお、入学時点で6年制と4年制がはっきりしている大学では、6年制は定員1万1930人に対し1万0810人が入学、4年制は1288人の定員に対し991人が入学した。

国 試 対 策。

あなたにとって

緊急じゃなくても、重要なこと。

薬剤師を目指す学生の支援サイト

薬剤師国家試験対策.com

PC <http://be89314.com/> 携帯 <http://be89314.com/i/>